

## 第5学年2組 道徳学習指導案

平成18年5月30日（火）第4校時

- 1 主題名 友だちとの信頼 2 - (3) 信頼・友情と男女の協力
- 2 資料名 サッカー集会（日本標準）
- 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

5年生になると、男女の意識が強くなり、同性同士で活動したがったり、ややもすると男女が対立したりということが起こってくる。そこで、この時期に、男女が協力すると、さまざまな活動が楽しく行われること、それだけでなく、それぞれのよさを生かし合うことによって、活動の内容もより優れたものになることを理解させたい。学校において、男女が協力し合わなければならない場はたくさんある。男女それぞれの気持ちの内面を組み取りながら考えたり、相手の立場に立ってそれぞれの思いに寄り添って考えたりできる態度を養いたい。

### (2) 児童について

クラス替えがあつて2ヶ月が過ぎ、学級の緊張感もほぐれ、和やかな雰囲気広がってきている。遠足やリレー大会などの行事を通して、お互いのよさを発見したり、チームワークの大切さを学んだりもしてきた。また、総合の学習では男女混合のグループで、保育園児に喜んでもらえるように紙芝居を練習し、保育園を訪問した際に発表してきた。これらの活動の様子を見てみると、男女関係なく意見を言ったり、仲良く協力したりできる児童と、反対に異性に対して言いたいことが言えなかったり、言いすぎてけんかになったりしている児童が見られた。男子と女子が仲良く協力できるグループは、明るい笑い声が絶えず楽しく活動できるのに対し、協力できないグループはお互いに文句を言ったり意見がまとまらなかつたりしていた。今後、男女が協力しあわなければよい結果が得られない活動はたくさんある。男女が仲良く協力することのよさを、これらの体験も想起して考えさせたい。

### (3) 資料について

この資料は、「サッカー集会」のことを書いた、山田君と井上さんの二人の作文で構成されている。山田君の作文には、井上さんがオウンゴールを入れてしまったことに対して文句を言ったり、その後、井上さんを慰めたりしたことが書かれている。井上さんの作文には、オウンゴールを入れてしまったことで、文句を言われたことよりも情けなさで泣いてしまったことや、励まされたことで友だちの優しさを感じたこと、試合には1点差で勝ったが、みんなのように喜ぶことができなかつたことが書かれている。山田君と井上さんの作文の内容をよく考えさせることと、二つの作文を重ね合わせて考えることを大切にしながら、二人の心の動き、男女の協力のあり方を追求していきたい。

### (4) 指導について

信頼・友情と男女の協力は、ともすると押しつけがましい説教調で指導されやすい。しかし、それでは頭で理解されるだけで、真に情感を伴った納得にはならない。男女それぞれの気持ちの内面をくみ取りながら、それぞれの思いに寄り添って、この価値について考えさせたい。事前に、男子は女子、女子は男子がいてよかったなと思うところについて書かせたところ、それぞれのよさに気づいている児童が多く見られた。また、リレー大会後の作文には、みんなが協力してがんばったこと、みんなの心が一つになってバトンを渡したことがよい結果につながったという感想が書かれていた。これらの記述も授業の中に生かしながら資料と自分たちを重ねて考えられるようにしたい。男女が互いのよさを認め合うためには、お互いの理解がとても大切である。このことは、研究の柱の一つである「お互いを尊重して学び合う心を育てる」ことにもつながっていくと考える。

### 4 本時のねらい

互いの理解を深めながら、男女仲良く協力して、いろいろな活動を進めていこうとする態度を育てる。

### 5 準備物

切り抜き絵、ワークシート、リレー大会の児童作文

6 本時の展開

	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	支援（・）と評価（☆）
気づく	1. 男女が協力してうまく活動できたり，協力しなくてうまく活動できなかったりした経験を出し合う。	・リレー大会や保育園訪問のことなど，5年生になってからのことに目を向けさせる。
考える	2. 「井上さんのオウンゴール」を読んで話し合う。 ○井上さんがオウンゴールをしてしまったときの山田君たちが言った言葉についてどう思いますか。 ・オウンゴールをされたら頭に来てどなってしまうのはしかたないだろう。 ・わざとやったのではないのだから，そんなにせめたらかわいそう。 ○もし，オウンゴールをしたのが仲のいい男の友だちだったら山田君はどうしたでしょう。 ・こころの中では思っている，言わなかったかもしれない。 ・「気にするな」と声をかけた。 ○泣きながらもがんばってプレーしている井上さんを慰めている山田君たちのことをどう思いますか。 ・いつまでも怒っていないで，がんばっている井上さんを素直に応援している。 ・きつく言い過ぎたことを反省して，元気づけようとしているからいい仲間だと思う。	・会話を掲示して，状況を把握しやすいようにする。 ・山田君たちの気持ちもわかるという意見も受け入れる。 ・男女の違いで，対応の仕方が違うと感じたことがないか，自分のこととして考えられるようにする。
	3. 「試合には勝ったけど」を読んで話し合う。 ○自分が情けないと思ったり，チームの人にもうしわけないと思っている井上さんをどう思いますか。 ・自分の失敗を自分の力で取り返そうとしているから，責任感が強い人だな。 ・男の子に負けずにサッカーをがんばっている女の子だな。 ○井上さんをなぐさめる友だちのことをどう思いますか。 ・山田君たちとは違って思いやりがある。 ・泣きながらがんばっている井上さんの気持ちを分かっている。	・井上さんが泣いていたのは文句を言われたからだけではないことから，井上さんのことを考えられるようにする。
深める	4. 二つの作文をあわせて山田君，井上さんの心の動きを考える。 ◎試合には勝ったけどあまりうれしくなかった井上さんでしたが，井上さんもみんなといっしょに勝利を喜び合えるためには，どうすればよかったのでしょうか。 ・井上さんがオウンゴールしたときに，井上さんの気持ちを考えて文句を言わなければよかった。 ・山田君たちも，いつまでも怒っていたわけではないのだから，井上さんが気にしなければよかった。	・井上さんの心の動きを山田君たちがもっとよくわかっていたら，対応の仕方がちがっていたらと考えられるようにする。 ・井上さんが，山田君たちの変化を感じとって，それにこたえるように行動すれば，もっと明るく試合ができたのではないかと考えられるようにする。
見つける	5. 自分たちのことを考える。 ○男女が仲良く協力して活動するためには，どうしたらいいでしょう。 ○リレー大会の作文を聞きましょう。	・最初の発問の答えを取り上げて，身近なものとして考えられるようにする。 ☆お互いの理解，協力がとても大切であることを理解することができたか。（発表・ワークシート）

# 友だちについて

名前( )

- 1 あなたにとって友だちとはどういうものでしょう。3つ書きましょう。

--	--	--

- 2 クラスには男の子、女の子がいますね。男の子は女の子がいてよかったなど思うことを、女の子は男の子がいてよかったなど思うことを書きましょう。

